

INIS データベースにおける非市販資料フルテキスト提供の課題

Issues on permanent access to the full-text of non-conventional literature in INIS Repository

*米澤 稔¹, 早川 美彩¹

¹ 日本原子力研究開発機構

国際原子力情報システム (International Nuclear Information System: INIS) は国際原子力機関 (IAEA) の加盟国内で刊行される原子力の平和利用に関する文献情報の流通を図るため、IAEA と加盟国の協力により構築・運用されているデータベースである。INIS では会議論文集や研究機関のレポート等の商業ルートでは入手困難な資料についてはフルテキストも提供している。資料の刊行形態が電子媒体や Web 等が主流となったことによりフルテキストを提供する上での課題が発生しており、その現状と対応について報告する。

キーワード: INIS, インターネット, DOI, 国際原子力情報システム, データベース, 非市販資料

1. 緒言

IAEA では加盟国・国際機関で刊行される原子力分野の文献情報を収集し、書誌情報データベース INIS を構築・運用している。INIS では学術雑誌等に掲載された論文の他、会議論文や研究機関のレポート等も収録している。INIS では入手が困難である会議論文集や研究機関のレポート等の資料 (非市販資料) について刊行元の許諾が得られた資料については IAEA のサーバからフルテキストを提供したり、Web で提供されている資料の URL 等を書誌情報に掲載することにより原文献に利用者がアクセスできる手段を提供しているのが特徴である。しかし、資料の刊行形態が電子媒体や Web 等が主流となったことによりフルテキストを提供する上での課題が発生している。

2. 課題

例えば、URL 等のリンク情報の場合、組織の改廃やサーバの移転等に伴いリンク情報が変化するため、リンク切れ等の課題がある。INIS に提供した日本国内で刊行された文献を対象にリンク情報を確認したところ URL は 32,965 件あり、その内アクセスできなかった URL は 1,900 件 (約 5.8%) あった。

また、会議資料の刊行形態が冊子体から CD-ROM や USB の電子媒体になり、最近では Web で提供されるケースも多い。Web で提供される場合、後日出版物として刊行される場合もあるが、会議終了後ウェブサイトが閉鎖され、アクセスできなくなってしまうことも多く、収集すること自体が困難になっている。

3. 課題と対応

リンク切れの対応としては、Web アーカイブ (国立国会図書館等) や機関リポジトリ等に保存されている URL をリンク情報として使用することが考えられる。また、原子力機構では Web で提供するレポートに DOI (Digital Object Identifier) を付与し、URL の変更があってもアクセスを確保できるよう努めている。研究成果情報への恒久的なアクセスを保証する観点から研究機関等が一般には入手困難なレポート等を Web で提供する場合には DOI の付与等の協力をお願いしたい。オンライン方式で提供される会議資料については収集すること自体が困難な場合も多くなっていることから、会議の主催者・事務局等に研究成果情報の流通促進の趣旨を理解いただき、電子ファイル提供等による原文献へのアクセス確保への協力をお願いしたい。

* Minoru Yonezawa¹, Misa Hayakawa¹

¹Japan Atomic Energy Agency